Niigata College of Nursing

2005
Guide Book

新潟県立看護大学
看護学部　看護学科

新潟県立看護大学の建学の精神

ゆうゆう・くらしづくり

◆ 地域とともに発展する大学

◆ ヘルスケアに携わる関係者の生涯学習への期待に応える大学

◆ 県民のくらしづくりに貢献する大学

◆ 独自性をもってゆうゆうと、看護学教育・研究に邁進する大学

新潟県立看護大学の mission（使命と任務）

地域文化に根ざした看護科学の考究

◆ 風土と文化の多様性の上に成り立つ社会・経済の構図、及び人々のヘルスケア授受の振る舞い行動に関すること

◆ 個人・地域・国際社会各々の文化に根ざしたヘルスケアの質の向上に関すること

新潟県立看護大学学長
中島　紀恵子

校章に込められた思い

Niigata College of NursingのNiigataの「N」、Nursingの「N」と新潟県の県花「チューリップ」とを合わせイメージした。赤の「円」は燦然と輝く希望の太陽とみなぎる活力を、「N」は手に手をつなぐ看護の人・もの・情報の発信と保健・医療・福祉の総合的視野に拓く創造性を表現し、これは又、21世紀をリードする新潟県立看護大学が力強く飛翔発展する雄姿を象徴しています。

新潟県立看護大学は2002年4月に発足しました。本学は、日本三大夜桜のひとつと言われる上越市高田公園の近くにあり、北に日本海、南に妙高山群、西に関川と素晴らしい自然環境に囲まれています。本学は地域に開かれた大学として「地域文化に根ざした看護科学の考究」を使命としており、この実現のために、学生間、大学間、地域間の連携と交流を積極的に進めます。

21世紀はケアの時代といわれます。今世紀国民は、看護ケアの質やヘルスケアシステムに対する品質管理と保障を求めており、特に看護従事者にたいしては、専門知識・技術に裏打ちされた優しさと、できる責任をきちんと果たせる自律した人材が求められております。

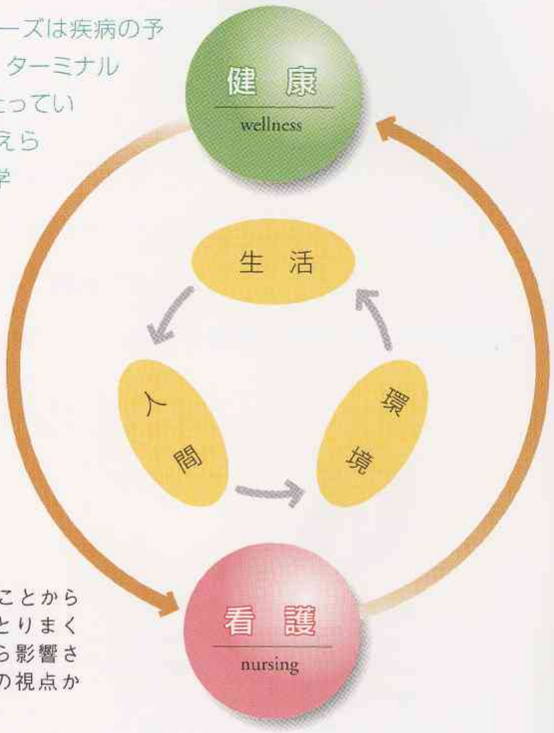
新潟県立看護大学の教職員は、看護科学を学び、専門職業人としての本質的な能力を開花させる努力をいたします。すなわち、「知識（head）」「こころ（heart）」を身につけてもらう「学舎」としての環境を築く努力をします。

看護は、男女を問わず魅力的な職業であり、奥の深い学問です。分野固有の学的系譜や専門性に誇りをもってケアに専心し、研究心をもって生涯学習する看護師・保健師・助産師を育成します。

本学は、人間科学や実践科学の学習により、1年次から少人数の基礎ゼミナールを通して、興味をもった課題に取り組みます。また、地域社会で暮らす人々との交流や、看護技術演習や臨地実習によって「知識・技術・哲学」の一体化を目指します。1年次の「ふれあい実習」の体験では、地域の中で専門家として働く意味を考えることがねらいです。年次進行とともに逐次人間の健康の成り立ちや病態のメカニズムを学びつつ、看護の専門知識・技術を学んでゆきます。授業では少人数による演習授業を通して「臨床能力」を養います。3年次からは、本格的な臨地実習が始まります。4年次には、各自が希望する場所での総合実習、専門ゼミナールを経て卒業論文を作成することになります。本学独自のカリキュラムを通して、バランスのとれた人間性豊かな看護人材が巣立っていくことを願っております。皆様の入学を心からお待ちしています。

Curriculum

現代社会の看護に対するニーズは疾病の予防、健康保持から社会復帰、ターミナルケアに至るまで広範囲にわたっています。こうしたニーズに応えられるよう、新潟県立看護大学では知識・技術を備え持ち、人が何を感じ、何を望んでいるのか考え、受け止めることのできる優れた人材を育成します。



「人間」を理解することからはじめ、私たちをとりまく様々な生活環境から影響される健康を、看護の視点から学んでいきます。

履修年次別授業科目

科目群	履修年次	1年次		2年次	
基礎科目	人間と文化	哲学　心理学　社会学	教育学　文化人類学　法学		
	人間と自然	生物学　化学	環境生態学		
	英語	英語表現法I（会話）　英語表現法I（読解）	英語表現法I（記述）	英語表現法II（会話）	英語表現法II（読解）
	スポーツ	健康スポーツ学			
	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール			
専門支持科目	人間と生活	地域経済論	行政法	地域福祉社会論 保健・医療行動科学	医事法　社会保障論 保健福祉
	人間と情報	情報科学	情報処理演習		
	看護の基礎	形態機能学I　形態機能学II 微生物学	臨床生化学　臨床病理学I	臨床栄養学 臨床病理学II	臨床薬理学 住民組織論
専門科目	基礎看護学	看護倫理　看護科学史 基礎看護学実習I	国際看護活動論　在宅ケア論 ふれあい実習		
	実践基礎看護学		看護技術論 基礎看護技術演習I	基礎看護技術演習II	基礎看護学実習II
	成人看護学			成人看護学I	成人看護学II
	母性看護学			母性看護学I	母性看護学II
	小児看護学			小児看護学I	小児看護学II
	老年看護学			老年看護学I	老年看護学II
	精神看護学			精神看護学I	精神看護学II
	地域看護学			地域看護学I	地域看護学II
	看護研究				
総合科目	総合	総合科目I			

看護大学が目指すこと

いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。

看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。

あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。

深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。

看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、コーディネートできる能力を身につけます。

保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われる実践を通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。

コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。

多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。

グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。

地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。

	3年次		4年次	
			宗教学	
英語表現法II（記述）				
	政策論			
	保健統計演習			
公衆衛生学・疫学	保健医療福祉行政			
				看護行政論
				看護管理
	成人看護学演習I 成人看護学演習II	成人看護学実習		
	新生児看護論 母性看護学演習	母性看護学実習	助産学I　助産学II（選択）	助産実習（選択）
	小児看護学演習	小児看護学実習		
	老年看護学演習	老年看護学実習		
	精神看護学演習	精神看護学実習		
	地域看護学III 地域看護学演習		地域看護学実習	
			専門ゼミナール　専門実習	卒論研究
				総合科目II

CAMPUS LIFE

豊かな自然とあたたかい人に囲まれて、貴重な学生生活を送ることができるキャンパスです。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた『上越市』。本学は、桜の名所として知られる高田公園も近く、城下町としての歴史や文化にふれる絶好のロケーションに位置しています。充実したキャンパスライフの拠点として、看護のプロを目指すにふさわしい環境がここにあります。

成人看護学演習

人体モデルを使ったクモ膜下出血後の患者の意識レベル、対光反射や麻痺の有無の確認方法のデモンストレーションを行っています。

県立中央病院

高度・先進的な診療機能を有する県内最大級（536床）の病院です。大学に隣接しており、基幹実習施設となります。

キャンパス全景

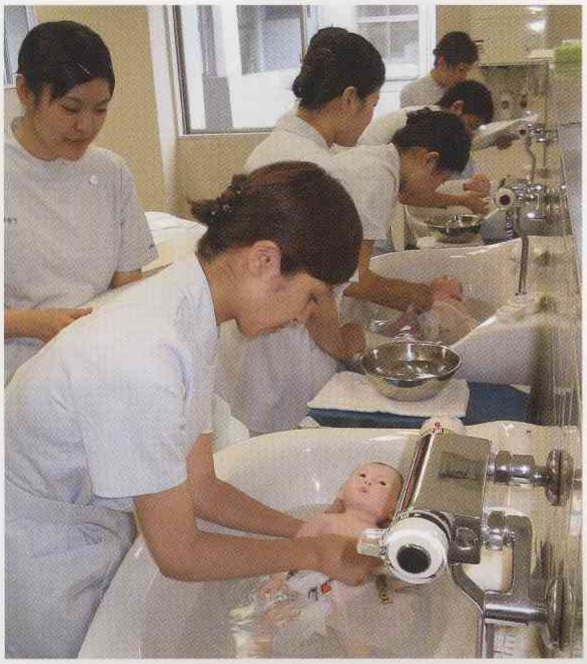
大槻早也佳　1年生（福島県出身）

まず学風が新しいという所にすごく惹かれました。これから自分達の手で、学風を作っていくんだっていうわくわく感がありますよね。実際授業を受けて見ると、看護の知識や技術の勉強だけでなく、心理学の授業などもあり、とても興味を持ちました。看護の世界って奥が深いなあって思いますね。

阿部浩也　1年生（新潟県出身）

周辺は自然がいっぱい。心配していた一人暮らしも、友達や先輩のおかげで寂しくないですよ。僕らも次はそんな頼れる先輩になっていたいなあと思います。授業は、「ねんりんピック」に参加したりと課外授業もあります。将来は「スポーツリハビリ医療」の現場で働きたいと思っています。

VOICE

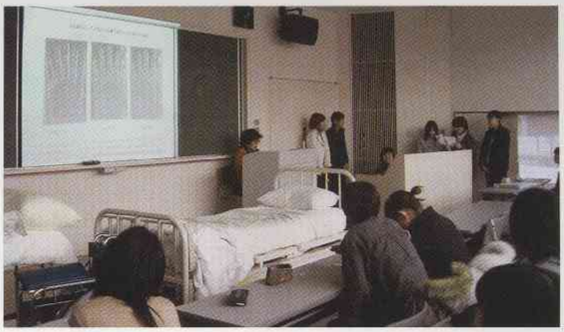


母性看護学演習

新生児モデルを使って沐浴演習をしているところです。

総合科目Ⅰ

「人間関係と表現への気づき」のひとコマ。他者に働きかけ、関わりを作り出していく力に目覚めることを目標とします。



看護技術論

授業の締めくくりに「看護技術の開発」と題して少人数で1ヶ月間のワーキングを行い、1つの技術をより深く理解して、改良に向け考察し発表します。

基礎ゼミナール

1年次に開講される少人数ゼミナールで、看護を科学的に追求するための知的探求方法を身につけることを目的とします。

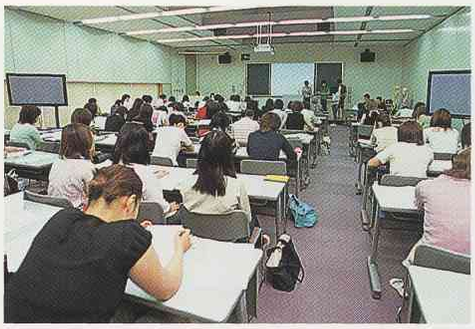
基礎看護学実習Ⅰ

入学して最初の実習です。幼児や元気な高齢者の生活の一部に参加しながら人間と環境及び健康との相互関連に気付き、また人と接する事の基本を学び始めます。

高校生のための授業見学を行っています。高校生から進路決定の参考としてもらうため授業の一部を聴講してもらうものです。

CAMPUS LIFE

授業環境・施設



ホール

講義時には２つの講義室として使用されます。また、研究発表会や式典にも利用することができ、プラズマディスプレイ等最新の視聴覚器材が整備されています。

情報科学教室

パーソナルコンピュータ56台を使用し、文書作成、表計算、データベースの検索、作成等についての演習を行います。

レセプションホール

3階まで吹き抜けの広々とした空間は学生の交流の場でもあります。音響効果に優れた建物構造を活かした演奏会などにも利用できます。

いつも笑顔に満ちている学内。目標を共有する仲間たちと感動を体験。

4月に入学したかと思うと瞬く間に月日が過ぎてしまう学生生活。貴重な時間をいかに有効に使うかが将来の夢を実現するカギとなります。期待を胸に、さあキャンパスライフのスタートです。

年間カレンダー

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
球技大会 前期授業開始 入学式	開学記念日5月8日			夏季休業		後期授業開始 継燈式	大学祭（桜蓮祭）		冬季休業		春季休業

合同講義室

全107席で100インチのビデオプロジェクターや資料提示装置を完備しています。

VOICE

経験豊富な先生の授業が魅力！

広瀬未穂　２年生（新潟県出身）

２年のグループ実習では、１年生で習った事を実際の現場でどうやって活用していくのかをじっくり勉強します。経験豊富な先生方が、御自分の体験談も交えて教えてくれるので、すっごく解りやすい！。サークル活動は、「バレーサークル」に所属。学内の体育館で週に１度、みんなで汗を流していますよ。

将来は、アメリカで医療を学びたい！

小沢友信　２年生（福井県出身）

アメリカの医療の技術はもちろん、現場の医師や看護師の命に対する考え方にとても関心があります。２年生になると、これまでの一般教養や基礎知識から、看護専門の講義が中心になりました。毎回、山のような？！課題や実習ですが、未来の自分のために今は全力でがんばります！

地元長野で、地域医療に従事したい！

牧垣陽子　３年生（長野県出身）

私のストレス発散は、学内のベンチで友達とおしゃべりすること。この大学に入って嬉しかったのは、先生がみんなの顔と名前をフルネームで覚えてくれたことですね。高校の時と違って、こんなに接する時間が少ないのに、ちゃんと私達の事を見ていてくれてるんだと感激しました。

夢は、海外ではたらくこと！

曲山絵理　３年生（福島県出身）

授業で「PBLチュートリアル」という、海外の授業方法を導入したものがあります。これは、毎回幾つかのグループでそれぞれのテーマを突き詰めていくものなのですが、みんなで協力しあって進めなければいけないため、社会人に必要なコミュニケーション能力や、プロになるための自覚を持てるようになりました。

継燈式

臨床実習に出る前に看護の道への決意を述べる儀式です。

入学式

球技大会

桜蓮祭

11月に行われる自治会主催の大学祭です。

看護学部看護学科

科目群の解説

基礎科目・専門支持科目

教授
吉山 直樹

教授
杉田 収

教授
中野 正春

教授
関谷 伸一

教授
野地 有子

助教授
橋本 明浩

助教授
中村 博生

講師
山本 淳子

講師
徐 淑子

講師
大友 康博

講師
渡辺 弘之

基礎科目は、豊かな人間性と総合的な判断力を養うことが目的です。「人間と文化」「人間と自然」「英語」「スポーツ」の4つの科目群からなっています。

専門支持科目は、環境との相互作用の中で生じる人間の健康現象を深く理解し、看護活動の判断を支える科目で、以下の3つの科目群から構成されます。専門科目を学ぶために必須の知識となります。

「人間と生活」— 人間生活や社会の仕組みを学びます。

「人間と情報」— 看護実践や研究にとって必須となっている情報処理技術を習得します。

「看護の基礎」— 人間の身体と病態・疾病に関する科目、人間集団の保健・予防活動に関する科目、保健医療福祉を支える社会的システムに関する科目で構成されています。

入学後、すぐに基礎ゼミナールが始まります。そこで、教員や友人たちと新たに出会い、文献検索、レポートの作成や討論の方法などの知的探求術を身につけることになります。学問する楽しさを存分に味わって下さい。

Message

基礎科目・専門支持科目とは、看護学の基礎をささえる立場にありますが、英語や社会学から臨床医学まで、多彩な人員構成となっており、それぞれ一人一人が一専門分野を持ち、その指向する方向はさまざまです。

だからこそ個性的な教員の持ち味を生かした教科目の内容呈示によって、恒常的な感動体験が得られるのです。これを通じて学生が看護の学習領域を大きく広げ、サイエンスの神髄を究める道が開けます。また、対処行動における国際性を認識する良き手助けともなることでしょう。

私達教員が提供する躍動感のある学園生活が皆様をお待ちしています。

基礎科目・専門支持科目

専門科目

基礎看護学

看護の基礎を学びます

基礎看護学講座では、看護の基盤となる理論を多角的な観点から学ぶとともに、地域で生活する多くの人々との交流を通して看護とは何かを考えていきます。

看護倫理では、現代の医療現場で注目されている「患者の自己決定」「インフォームドコンセント」などのキーワードを取り上げ、看護における倫理的問題を学び、看護科学史では、看護科学の歴史について学びます。その他、在宅ケア論、看護行政論、国際看護活動論などを通して、個人だけではなく、地域・福祉・行政及び国際的な視点のもとに看護学の基礎を学んでいきます。

また、保育園やねんりんピック等での見学・実習を通して健康な子どもたちや高齢者の生活を知る「基礎看護学実習 I」、県内の様々な市町村でのホームスティや地域活動への参加を通して、地域に住む人々と交流し、その生活を考える「ふれあい実習」といった、豊かな人間性を育てる体験学習としての看護学基盤実習も行います。

学長
中島 紀惠子

助教授
中川 泉

助教授
朝倉 京子

講師
大友 優子

実践基礎看護学

助教授
堀 良子

講師
水口 陽子

講師
松下 由美子

助手
岡村 典子

助手
籠 玲子

看護技術を「科学」します

看護者は、看護の対象となる人々が安全・安楽に生活を送れるよう、療養生活上で様々な看護技術を実践しています。実践基礎看護学では、これらの看護の技術を科学的に検証しながら、看護技術の向上をめざします。

「看護技術論」「基礎看護技術演習 I」「基礎看護技術演習 II」は、看護の対象に看護援助を実施する意味や専門技術習得の必要性を考えるとともに、講義と演習を組み合わせ、清潔・食事・排泄や注射・採血などの生活援助技術・診療補助技術の科学的根拠について考えながら、看護の対象を理解した上での個々の技術を習得していきます。また、看護の対象を理解していくために必要なコミュニケーション技術や、看護の対象の健康状態などの情報収集をもとに看護計画を立案する過程で必要となる、系統的な思考方法とヘルスアセスメント技術の基礎を学びます。

「基礎看護学実習 II」では、病院実習を通して実際の看護活動に触れ、習得した看護技術を用いて、看護の対象の個々にあった日常生活援助を実践する能力を養います。

Message

私達は、看護技術は固定化されたものでなく時代とともに変化し発展させてゆくべきものであり、学生はその担い手と考えています。創造的に学ぶことのできる教育方法や、実践能力の育成として、対象者や状況に合わせて臨機応変で的確な援助を考え実施する力を身につける教育を探求しています。また、コンピュータに映像を組み入れた学習支援教材の開発、活用なども行い、実習室を開放して自由に自己学習できるように支援します。

実践基礎看護学

成人看護学Ⅰ（慢性期）

「セルフケア」を高める看護

成人看護学Ⅰ（慢性期）では、成人期の患者を対象に、主に、慢性的な健康障害をきたした人への看護援助を学んでいきます。

具体的には、糖尿病などの慢性病をもつ人が、自ら生活の調整をしながら良好な健康状態を維持していく力を高める「セルフケア」の観点から看護援助を考えると共に、術後患者や脳血管障害の後遺症をもつ人に行われるリハビリテーション看護、末期がん等により死を免れ得ない患者へのターミナルケアなど、生活の質（Quality of Life）を重視した看護援助について考えていきます。

演習では慢性期の事例の看護過程展開を通して、食事指導などの教育的アプローチ、リハビリテーションの実際、ターミナルケアにおける看護技術を習得し、実習では病棟で実際に慢性病をもつ成人の患者を受け持ち、看護援助を実践する他、リハビリテーション室での見学実習を行います。

教授
加藤 光寶

講師
直成 洋子

講師
酒井 禎子

助手
飯田 智恵

助手
樺沢 三奈子

助手
内藤 知佐子

成人看護学Ⅱ（急性期）

教授
深澤 佳代子

助教授
小林 優子

助手
山田 正実

助手
今泉 香里

急性期、緊急時の判断能力を養いましょう

救命救急・集中治療が必要とされる医療の現場では、確実な知識と技術、そして判断能力に基づいた急性期看護が必要とされます。成人看護学Ⅱ（急性期）では、成人期の患者とその家族を対象に、健康状態が急激に変化している人、生命が危機にさらされた状況の人、手術を受ける人への看護援助を学んでいきます。

具体的には、心筋梗塞や脳血管障害などにより救命救急・集中治療が必要な患者や、ICU（集中治療室）やCCU（心臓集中治療室）といった急性期看護を行う場の特徴とその看護、そして手術を受ける患者の術前・術後の看護などを学びます。

また、演習では、意識障害などの急性期にある患者の事例を通して理解を深めるとともに、モデル人形を使った救急蘇生や呼吸訓練などの急性期看護に必要とされる看護技術を習得します。実習では、実際に周手術期にある患者を受け持ち、看護援助を実践する他、救命救急センター、手術室でも見学実習を行います。

母性看護学

教授
加城 貴美子

講師
笹野 京子

講師
和田 佳子

助手
阿部 正子

助手
高塚 麻由

助手
西方 真弓

生涯にわたる女性の健康について学びます

母性看護学は、母性看護学Ⅰ、母性看護学Ⅱ、新生児看護論、母性看護学演習と母性看護学実習で構成されております。講義と演習は2年生前期から3年生前期に開講され、実習は3年生後期に行われます。

母性看護は、女性のライフサイクルの中で特に生殖機能とそれに関わることを学びます。具体的には、日本をはじめ世界各国の母性看護の歴史とその活動について学び、今後の母性看護のあり方について考えます。また思春期の女性と男性について、妊婦と胎児、お産をする女性、お産後の女性とその新生児、それを支える父親とその家族、更年期におこる種々の症状などについて、解剖学や生理学の学びの上に健康増進のための援助や病気になった女性への看護を学びます。

小児看護学

子どもの成長・発達を促進するケアについて学びます

授業構成は、小児看護学Ⅰ・小児看護学Ⅱ・小児看護学演習・小児看護学実習から構成され、2年生前期から順次開講されます。

小児看護学では、人生の中で成長・発達の目覚ましい時期にある子どもを対象としますので、子どもの成長・発達の特徴について学びます。次に、病気や障害を持った子どもの生活、家族に及ぼす影響について理解し、事例を通じて個々の子どもや家族の状況に応じた看護援助について学びます。

小児看護学実習では、病院で子どもを受け持ち、障害児施設では障害を持つ子どもの生活を見学します。実習では小児看護に必要な知識と技術を総合的に習得し、子どもの個性や家族の価値観、成長・発達を考慮した実践能力を身に付けることが目標です。

教授
加固 正子

講師
井上 みゆき

助手
大久保 明子

助手
金井 幸子

精神看護学

教授
冨川 孝子

講師
後田 穣

助手
手島 美絵

当事者主体の ケアについて学びます

「精神」とは何か？「心」とは何か？誰でも一度は真剣に考えることがあるでしょう。医学や看護学の範囲を超えた広い領域にわたる問題です。現代社会にはいろいろな心の問題が存在します。しかし、それら全てが心の健康問題という訳ではありません。医療・看護サービスの原点は、悩み苦しむ人が「自ら求める」ことに応えるという点にあります。自然に精神看護学の範囲も決まってきます。

精神看護学は、精神の健康と健康障害について理解するとともに、健康障害に苦しむ人が「自ら求める」ことに応えるために必要な知識・技術・態度を習得する科目です。

精神看護学の実習を行う精神病院は、人権・プライバシー・セクシュアリティを尊重する、当たり前の病院であり、入院している人だけではなく、地域社会で生活する人も活用できる各種のサービスを行っています。また、健康福祉環境事務所（保健所）や市町村では、在宅の精神障害者を地域できめ細かく支援するサービスを行っています。

老年看護学

高齢者の尊厳に注目し、その人らしい 自立のあり方を学びます

老年看護学は、老年看護学Ⅰ、老年看護学Ⅱ、老年看護学演習、老年看護学実習の４科目から構成され、２年生後期から逐次開講されます。いずれの科目においても、一貫して高齢者の尊厳に深く注目しつつ 、その人らしい自立のあり方を支援するための基礎能力を育てることを目指しています。

老年看護学Ⅰでは高齢社会、ならびにそこに生きる高齢者やその家族の実状や問題への理解を通して、老年期の発達課題に対応した看護の進め方を、老年看護学Ⅱでは老年期特有の生活や健康上の問題を把握し、それを解決するための看護の方法を学びます。さらに、これらの学びをより実践的かつ総合的なかたちで深められるように、老年看護学演習ならびに老年看護学実習が開講されます。

実際には、高齢者の疑似体験、ロールプレイ、グループ討論など、皆さんの感性と思考をフル回転させるような体験学習プログラムを取り入れながら展開していきます。

教授
田中 キミ子

助教授
北川 公子

助手
唐澤 千登勢

助手
菅原 峰子

助手
津田 さとみ

地域看護学

教授 佐々木 美佐子　講師 小林 恵子　講師 平澤 則子

講師 飯吉 令枝　助手 齋藤 智子

地域で暮らす人々の健康の向上を目指す看護を学びます

地域看護学は、地域看護学Ⅰ、地域看護学Ⅱ、地域看護学Ⅲ、地域看護学演習、地域看護学実習から構成され、2年次前期から順次開講されます。

地域看護学Ⅰでは、地域を基盤とした看護活動の基本理念をヘルスプロモーションの視点から理解を深めます。地域看護学Ⅱでは、個人、家族、集団を対象とした地域看護活動の方法・技術を学びます。地域看護学Ⅲは、乳児から高齢者まで、すべての年齢層の人たちに対する地域看護の方法を学習します。

さらにこれらの学びをより実践的にするために、事例を用いて学内演習を展開していきます。

実習は保健所・市町村保健センターの保健師活動と訪問看護ステーションの訪問看護活動に参加して、実際活動を体験します。

Message

皆さんは普段、健康を意識することがありますか。きっと意識することは少ないと思います。私たちは、健康を害して初めて健康の大切さを実感します。それは、健康は人生の目的ではありませんが、人生を生き生きと過ごしていくための大切な資源であることを物語っています。

地域看護学はそんな「健康」を考える看護学です。

自分の健康や日常生活に振り返って考えられる授業展開にしたいと思っています。

地域看護学

看護研究　「専門ゼミナール」、「専門実習」、「卒論研究」で成り立っており、看護の教員によって開講される少人数ゼミナール形式の科目です。討論や実習を通して、より深く多様な視点で研究を行っていきます。

総合科目　看護学が追求すべき現代の課題を、実践的・学際的に学んでいきます。

附属機関

看護研究交流センター

看護研究交流センターは、地域及び行政がかかえる課題の研究や地域支援事業の活動を通じて、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与します。関係機関・団体等とのネットワーク構築を図りながら、本学の使命である「地域文化に根ざした看護科学の考究」を進め、積極的に貢献しています。

センター事務室

情報交換と検索の場として、インターネット検索や統計処理が可能な機器を備えています。少人数のカンファランスも可能です。

多目的室

設備に視聴覚機器を備え、研究発表会や多人数用の会議室として利用できます。準備室が付属しており大きな機器・機材の展示も可能なスペースが確保されています。

地域課題研究事業

調査研究事業として
地域のヘルスケア・ニーズ、看護の継続性、看護職者教育プログラム開発、保健医療福祉サービス、大学におけるIT利用教育、等の5つの分野の研究を進めています。

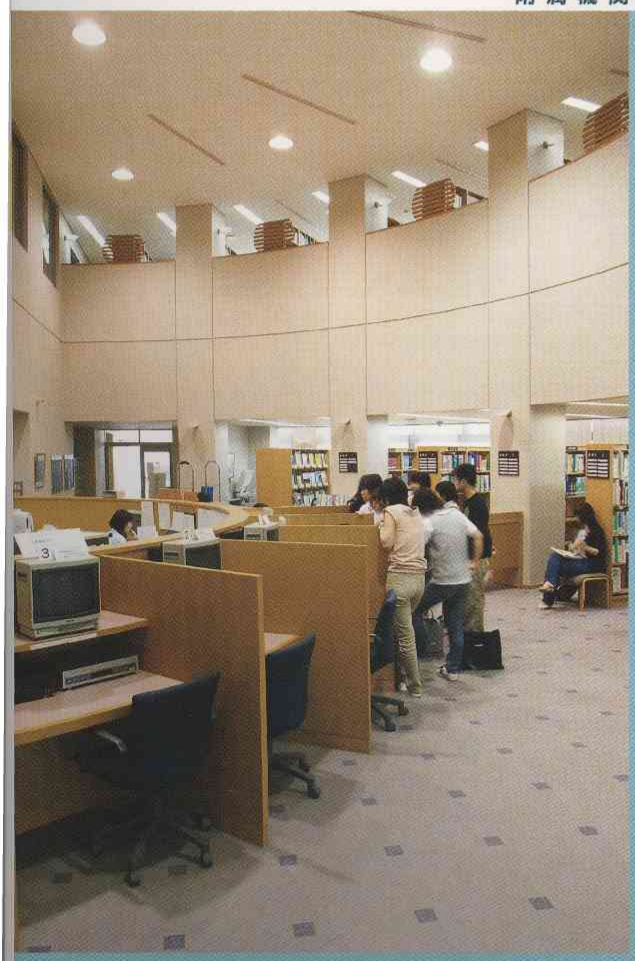
生涯学習支援事業

【一般公開講座】
広く県民を対象として開講します。
【専門講座】
看護職者を対象として開講します。
【出前講座】
大学の特色を生かして本学教員が地域に出向いて開講します。

ネットワーク構築事業

- センター報の発行等により活動状況を報告します。
- 市町村や地域関係団体等とのネットワークづくりを推進します。

附属機関



図書館

大学の図書館は、看護に関する資料を中心に所蔵しています。
このような図書や資料を活用したい方はどなたでも利用できます。
看護に関することで調べたいことがある場合など、ぜひ出掛けてみてください。

- 開館時間　月曜日～金曜日　9:00～20:30
　　土曜日　9:30～16:30
- 休館日　日曜日や大学の休業日は休館しています。
　　事前に電話で確認してください。
- サービス　貸し出しや必要に応じて複写できます。
　　詳しくは、図書館職員にお聞きください。

図書館

採光のよくとれたゆったりとしたフロアは2階構造で、教育・研究に必要な図書や雑誌、視聴覚資料などが豊富に揃えてあります。閲覧席は1階が81席、2階は32席で、他にAV室も設置され教材もより充実しています。

CAMPUS LIFE Q & A

こんなコト、あんなコト、期待も不安も学生生活の新しい環境にはつきもの。答えます、あなたの質問に。（みなさんからいただいた質問のうち、数の多かった質問について、掲載しました。）

Q 入学料、授業料はいくらですか?

A 入学料は、新潟県の住民28万2千円、新潟県以外の住民56万4千円となっています。授業料は平成16年7月現在、52万8百円と規定されていますが、今後改定された場合、改定された額を適用します。

Q 奨学金制度はありますか?

A 奨学金制度には日本学生支援機構、その他地方公共団体等によるものがあります。ただし、採用条件を備えていても奨学金採用数が限られているため、必ずしも希望者全員が採用されるとは限りません。手続きの方法や詳細については、事務局にご相談下さい。

Q 教員の陣容はどのようになっていますか?

A 本学は、学問としての看護科学を学び、実践的能力、コミュニケーション・コーディネート能力や生涯学習能力を備えた「専門的職業人」を育成します。これらの特色あるカリキュラムを実施するため、専任教員を58名配置する予定としており、16年度は53名が着任しました。なお、58名のうち看護系の教員は47名となっており、専門教育に力を入れております。

Q 授業についていけるか不安です。大丈夫でしょうか…?

A 初めて学ぶことばかりで、誰でも不安に思うかも知れません。でも心配はありません。本学では、皆さんが必要とする技術や知識がしっかりと習得できるように、各専門分野ごとに優れた先生方がわかりやすく授業を進めていきますので、安心して勉学に励んでください。また、わからないことや疑問点があったら、積極的に尋ねて下さい。わかりやすくお答えします。

Q 学生寮はありますか?

A 学生寮はありません。希望する学生にはアパート情報を提供します。希望する方は気軽にご相談下さい。大学の近くに近年多くのアパートが建築されました。

Q 生活や学習について悩みがあった場合、相談に乗ってくれるところがありますか?

A 各学年に担任教員を配置しています。また、各教員はオフィス・アワーを設け、授業についての質問や学業に関する相談に乗れる体制を整えています。

Q アルバイトをしたいけれど、できるんですか? アルバイト情報はあるのですか?

A 学生時代はいろいろな経験をすることも大切な勉強です。学生としてふさわしいアルバイト情報を掲示板等で提供します。

Q 実習施設にはどんなものがありますか?

A 大学の隣に位置する地域拠点病院の新潟県立中央病院（病床数536）をメインに病院実習を行います。その他、保健所や市町村、保育園、訪問看護ステーション、特別養護老人ホームなど、様々な実習施設が確保されています。

Q 特別選択の小論文と面接について

A 小論文については、英文資料の読解を含み、90分の試験時間です。内容は、分析能力、感受性、英文内容把握能力などを評価するものとなっています。グループ面接の方法は試験時に指示されます。

Q 編入学について

A 3年次編入（定員10名）を平成17年度から開始します。看護系短期大学を卒業した者又は看護系専門学校（専修学校専門課程）の卒業者で看護師免許取得者を対象として予定しています。

卒業後の進路

高齢化社会の進展や介護保険制度の施行などにより、医療・保健・福祉の連携が重視されるようになり、看護職のニーズは、病院以外の福祉施設や地域、家庭へと拡大しています。

卒業時に取得できる資格

- 看護師 国家試験受験資格
- 保健師 国家試験受験資格
- 養護教諭 2種免許 ※1
- 助産師 国家試験受験資格 ※2

※1　保健師国家試験合格後、申請により授与されます。
※2　助産学科目を履修した場合に限ります。

●病院
患者さんの病気の回復を助けます。

●保育所
子供の健康と成長を守ります。

●大学院進学
専門職としての研究方法を学び、CNSや大学の教員として活躍します。

●企業内の健康管理室
働く人々の健康管理をします。

●海外での看護活動
JICA（国際協力事業団）や青年海外協力隊などの活動に参画します。

●小・中・高校保健室
生徒の健康管理や相談に応じます。

●研究所
最先端の看護の研究を進める他、企業の製品開発の研究に参画します。

●訪問看護ステーション
自宅で療養している患者さんへケアをします。

●看護の教育機関
看護学生の教育・指導にあたります。

●老人保健施設・特別養護老人ホーム
病気を持ち施設で暮らしている高齢者の日常生活を支えます。

●保健所・市町村
地域の人々の健康管理や相談に応じます。

●診療所
地域の人々の病気の回復を助けます。

スタート地点は上越市。

充実したキャンパスライフの拠点、上越市。豊かな自然に恵まれた新潟県西部の商工業都市です。春日山城下町、高田城下町として長い歴史と文化が引き継がれています。また快適な都市機能を持ち陸路・海路ともに交通の要衝ともなっています。

平成 17 年度入学者選抜概要

1. 募集人員

入学定員	特別選抜		一般選抜	
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期
90 名	30 名	若干名	50 名	10 名

※一般選抜前期試験の募集人員には社会人特別選抜の若干名を含む。

2. 個別試験科目

区分	特別選抜		一般選抜	
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期
個別試験科目	小論文（英文資料の読解を含む） グループ面接		小論文 グループ面接	
試験会場	新潟県立看護大学			
出願期間	H.16 10/25 ～ 11/2		H.17 1/24 ～ 2/2	
試験期日	H.16 11/20		H.17 2/25	H.17 3/14
合格発表	H.16 11/29		H.17 3/7	H.17 3/20

一般選抜に出願する方は、平成 17 年度大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験する必要があります。

3. 一般選抜の方法

- 平成 17 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で本学が入学志願者に解答させる教科・科目を受験した者とします。
- 前期試験、後期試験の両方に出願できます。ただし、出願手続きは平成 17 年 1 月 24 日から 2 月 2 日までの間に行う必要があります。
- 本学の個別学力検査等の科目は、小論文とグループ面接です。
- 前期試験、後期試験とも試験会場は、新潟県立看護大学で実施します。

4. 特別選抜の方法

A. 一般推薦

(1) 出願資格

次のいずれにも該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者とします。

- 新潟県内の高等学校を平成 17 年 3 月卒業見込みの者
- 調査書の全体の評定平均点が 4.0 以上の者
- 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
- 合格した場合、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1 高等学校当たりの推薦人数については、3 名以内とします。

(3) 選抜方法

小論文（英文資料の読解を含む）、グループ面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

B. 社会人特別選抜

(1) 出願資格

次のいずれにも該当する者とします。

- 大学入学資格を有する者
- 平成 17 年 4 月 1 日時点で、社会人の経験を 3 年以上（夜間・定時制・通信教育以外の学校、専修学校及び各種学校に在籍していた期間を除く。）有する者
- 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者

(2) 選抜方法

小論文（英文資料の読解を含む）、グループ面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

5. 募集要項の請求の方法

(1) 直接大学へ請求

返信用封筒（請求者の住所・氏名を明記した角形 2 号の封筒）に、必要とする募集要項の種類（「一般選抜募集要項」又は「特別選抜募集要項」あるいは「一般選抜募集要項・特別選抜募集要項」）を朱書きし、必要な金額の切手（いずれか一方の場合 240 円、両方の場合 390 円）を貼付して、新潟県立看護大学教務学生課に申し込んでください。8 月上旬より配布を予定しています。出願締切を充分考慮して、早めに申し込んでください。

(2) 郵便局での請求（10 月より案内開始）

全国の郵便局に設置されている「全国　国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項（願書）請求申込書」（入学願書ゆうパックカタログ）に必要事項を記載の上、送料と払込み手数料（70 円）を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。

(3) 電話（テレメール）での請求（24 時間対応）

① インターネット（携帯電話・パソコン）または電話をご利用ください。

インターネット（携帯電話・パソコン）の場合	電話の場合
http://telemail.jp 携帯電話（iモード・EZweb・Vodafone live!）、パソコンとも共通アドレスです。	（東　京）03-3222-0102
	（名古屋）052-222-0203
QR コード ※対応する携帯電話で読み取れます	（大　阪）06-6222-0102
	（福　岡）092-433-0102

② 資料番号（6 桁）をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料番号
一般選抜＋大学案内	548850
大学案内	568750

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※送料は資料到着後、同封の払込用紙で支払ってください。

(4) ホームページからの請求

新潟県立看護大学のホームページから直接請求できます。

※上記（2）（3）（4）での請求方法についてのお問い合わせ先
全国学校案内資料管理事務センター
06-6231-5992（月～金 9:30 ～ 18:00）

新潟県立看護大学

看護学部　看護学科

住　　所／新潟県上越市新南町240番地
問い合わせ先／〒943-0147　新潟県上越市新南町240番地
新潟県立看護大学 教務学生課
TEL 025-526-2811　FAX 025-526-2815
U R L　http://www.niigata-cn.ac.jp
E-mail　kyoumu@niigata-cn.ac.jp